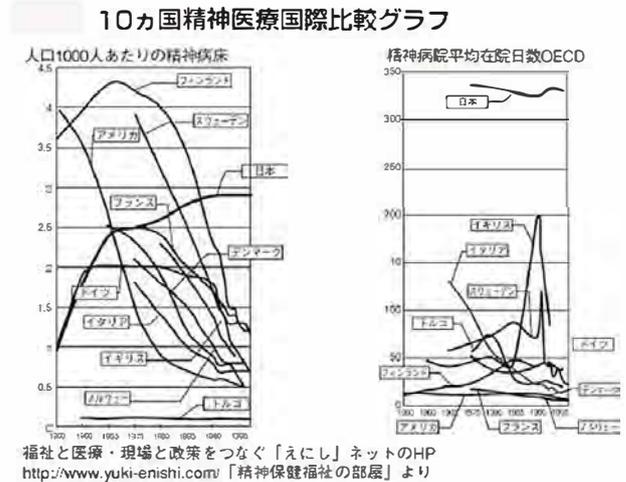
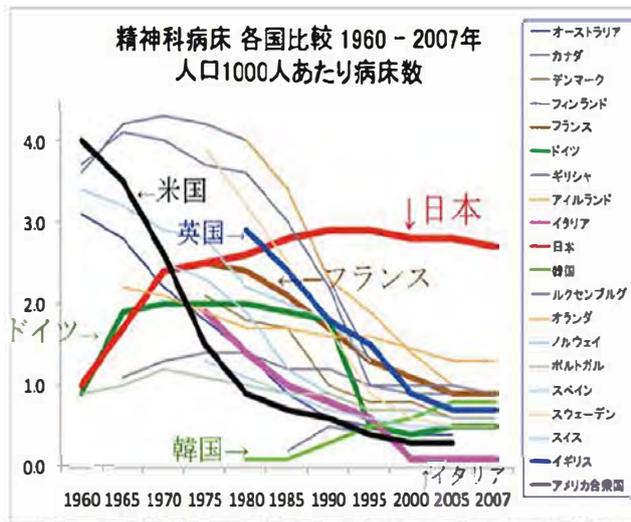


参考資料2 集団ストーカー被害者を統合失調症に見せかける手法が横行

『統合失調症』と言う精神疾患の病名を巧みに悪用し集団ストーカーの被害を隠蔽する犯罪です。集団ストーカーやテクノロジー犯罪（電磁波送信によって音声や脳内で聞こえる症状がでる被害や、DEWによる身体へのレーザー攻撃）の被害者は、精神病認定されて警察によって身体拘束されます(警察には精神病患者を拘束する権限がある)。全世界的マニュアルが存在しています。警察の上層部は米国CIA、その下部組織で反日教育を受けた在日韓国人・中国人の子孫の日本人)と関係しています。

【統合失調症という病気の日本と世界の現状】

まずは、大体日本で集団ストーカー、テクノロジー犯罪等と警察や弁護士、医師、家族、知人に訴えると誤解を受ける[統合失調症]という病気について見てみよう。



参考；大熊一大 精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本 岩隈書店 2009年

このグラフを見ますと、先進国の中で日本の異常さがお分かり頂けると思います。

左のグラフの人口 1,000 人あたり精神科病床数は 1970 年代から世界的には減少傾向にあるのにも関わらず、日本国のみ増え続け減っていません。世界の精神科病床数の五分の一が日本にある事になります。そして一番左のグラフの精神病院平均在院日数は、ダントツ日本が一番長い飛び抜けた結果になっています。

その中でイタリアに於きましては、既に統合失調症という病名すら無い現状です。

『統合失調症』をカムフラージュにした集団ストーカーマニュアル

ラウニ・キルデ博士

1939 年生まれ、フィンランドの内科医、国際赤十字の最高任顧問、作家であり 2015 年死亡



ラウニ・キルデ博士の残された、集団ストーカーマニュアル、ここに書かれている内容は、集団ストーカー側が人々を虐待し拷問する為の解説書
このマニュアルを読めば、全世界どこに住んでいても同じ手法で行われている心理戦という事が良くわかります。勿論日本の被害者も驚きと共に共感しています。

Dr. Rauni-Leena Luukanen-Kilde, former chief medical officer, stated that U.S. intelligence agencies/military are using cell towers to implement mass, electromagnetic mind control (granting them the ability to remotely read your thoughts, unconscious, and intentions even before the individual becomes conscious to them). She stated that electromagnetic weapons could manipulate thoughts, emotions, and behavior as well as cause diseases, such as cancer. She died from severe cancer all over her body in 2015 and reportedly believed she was being murdered.